

## 〃思い描けば歩み出せる〃

## 〈登場人物〉

- 坂井萌子／飛行機事故により失命。天界へ行く為天使より死体探しを命ぜられる。
- 榊啓治／グラフィックデザイナー。萌子を見ることが出来る唯一の地上人。
- 榊寛治／啓治の父。漁師をしている。
- 榊源治朗／啓治の祖父。漁師をしている。
- 榊真沙美／啓治の母。漁師の妻。
- 井上／広告代理店の社員。
- 三輪康太郎／三輪画廊の所長。
- 斉藤／萌子の恋人？
- 高山／啓治の絵の購入を希望する会社員。

## 〈あらすじ〉

飛行機事故により命を失った坂井萌子は、天界へ行く為に「自分の死体探し」を命ぜられる。売れない絵描き榊啓治は、萌子の姿を認識することができる唯一の地上人（しかし触れることはできない）。萌子は、絵のモデルになることを条件に、啓治に死体探しを手伝ってもらふ。

死体探しの成果が出ない中、萌子を描いた啓治の絵が入賞し、個展を開くことになる。

萌子は啓治の個展で、「獅子岩が描かれた絵」を見て、自分が死ぬ間際に見た風景を思い出し、死体を見つけることに成功する。

死体探しの過程で相思相愛となった二人。萌子は消え去り死体だけが残った。次の日、神様の計らいで誰にでも見える姿となった萌子は、啓治と念願のデートを果たし、啓治に「言葉のプレゼント」を贈る。